

第1節 震災の概要

1. 1 地震の概要

新潟県中越沖地震は、2007年7月16日（月・祝）10時13分頃に、新潟県中越沖を震源として発生した。地震の規模を示すマグニチュードは6.8で、中越地方では、2004年（平成16年）の新潟県中越地震以来のマグニチュード6以上の地震であった。※新潟県高田地点の天気は「くもり」

表 1.1.1 新潟県中越沖地震の概要

発生日時	平成19年7月16日 10時13分頃		
震源地	新潟県上中越沖（北緯37度33.4分、東経138度36.5分）		
震源の深さ	約17km		
規模	マグニチュード6.8		
各地の震度	震度6強	新潟県	柏崎市、長岡市、刈羽村
		長野県	飯綱町
	震度6弱	新潟県	上越市、小千谷市、出雲崎町
		新潟県	三条市、十日町市、南魚沼市、燕市
震度5強	新潟県	三条市、十日町市、南魚沼市、燕市	
	長野県	中野市、飯山市、信濃町	
津波	津波注意報 → 11時20分 解除		

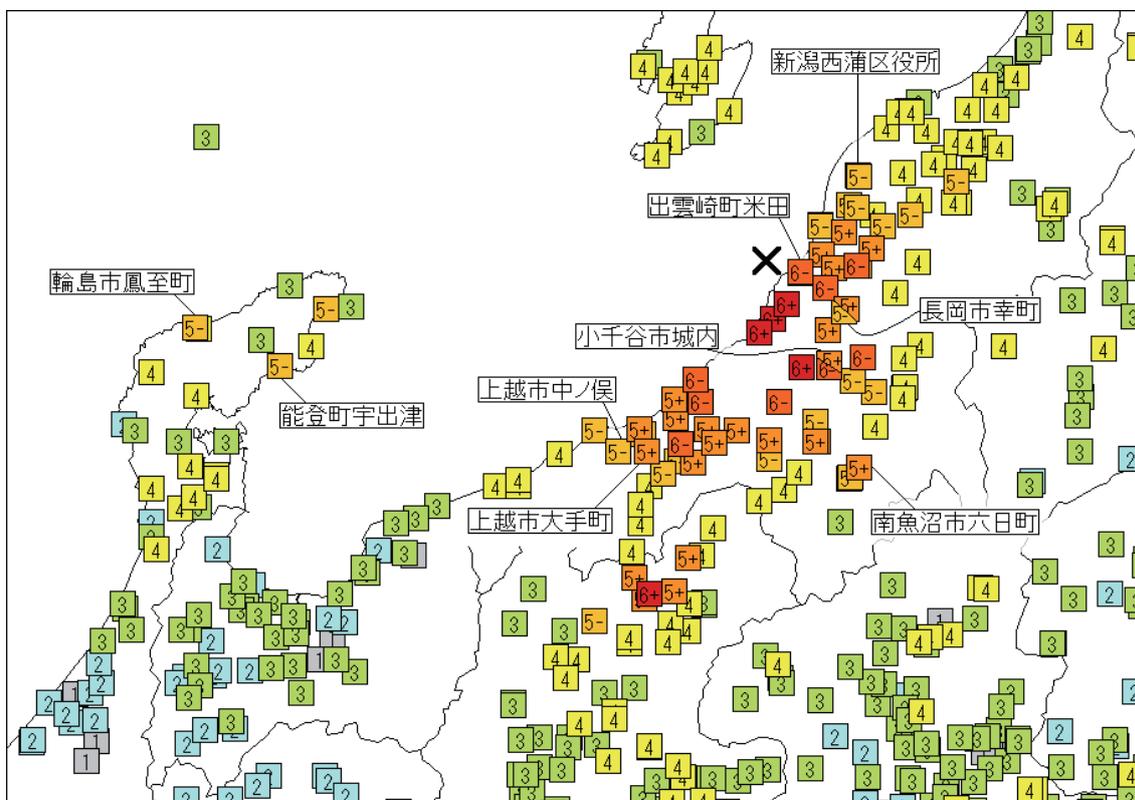


図 1.1.1 新潟県中越沖地震震度分布（出典：気象庁ホームページ）

（出典）消防庁：平成19年（2007年）新潟県中越沖地震（第50報），平成21年1月13日（金）18:00

## 第1節 震災の概要

## 1. 2 被害の概要

新潟県中越沖地震による被害状況は以下のとおりである。

## (1) 人的被害

- ① 死者 15 人 (うち関連死4人含む)
- ② 負傷者 (重傷) 355 人
- ③ 負傷者 (軽傷) 1,991 人

## 【被害の詳細について】

## ・ 柏崎市

- ※ 76歳男性が建物の下敷きになって死亡
- ※ 72歳女性が建物の下敷きになって死亡
- ※ 78歳女性が建物の下敷きになって死亡
- ※ 81歳女性が建物の下敷きになって死亡
- ※ 83歳男性が建物の下敷きになって死亡
- ※ 83歳男性が建物の下敷きになって死亡
- ※ 77歳女性が外傷性硬膜下血腫により死亡
- ※ 71歳女性が建物の下敷きになって死亡
- ※ 76歳男性が建物の下敷きになって死亡
- ※ 47歳男性が熱傷により死亡
- ※ 62歳男性が被災によるストレスのため急性心筋梗塞で死亡
- ※ 70歳女性が被災によるストレスのため脳出血で死亡
- ※ 59歳男性が被災によるストレスのため胃潰瘍 (大量出血) で死亡
- ※ 59歳男性が地震や長期入院によるストレスのため死亡

} 関連死 (4人)

## ・ 刈羽村

- ※ 79歳女性が建物の下敷きになって死亡。

## (2) 住家被害

- ① 全壊 1,331 棟
- ② 半壊 5,704 棟
- ③ 一部破損 36,565 棟
- ④ 火災件数 3 件 (建物火災1件、その他火災2件)  
柏崎刈羽原子力発電所で3号機の変圧器が延焼 → 12時10分 鎮火

## (3) その他

- パイプラインからの原油漏えい2件

表 1.2.1 被害状況一覧

都道府県	人的被害					住家被害			火災		
	死者	行方不明	重傷者		全壊	半壊	一部損壊	建物	危険物	その他	
			重傷	軽傷							
人	人	人	人	人	棟	棟	棟	件	件	件	
新潟県	15		2,316	349	1,967	1,331	5,704	36,209	1		2
富山県			1		1						
長野県			29	6	23			356			
	15	0	2,346	355	1,991	1,331	5,704	36,565	1	0	2

---

(出典) 消防庁：平成19年(2007年)新潟県中越沖地震(第50報)，平成21年1月13日(金) 18:00  
新潟県：ホームページ(H21.1.7現在)

## 第1節 震災の概要

## 1.3 緊急地震速報

平成19年（2007年）新潟県中越沖地震の際には、地震の検知から3.8秒後に緊急地震速報の第一報が気象庁より発信された。

気象庁は緊急地震速報利用状況について、緊急地震速報の先行利用機関等に対してアンケート調査を実施し、その結果から緊急地震速報に基づいて揺れに備えるための行動や機器の制御等を実施した主な事例について以下のとおりとりまとめている。

なお、これ以外にも、関東、中京地区の複数の利用先で、主要動の約40秒以上前に緊急地震速報を受信し、「机の下に避難」「安全な場所に移動」「周囲への注意喚起」「火の元を消す」などの対処がとられたとの確認がされている。

表 1.3.1 平成19年（2007年）新潟県中越沖地震における緊急地震速報の主な利用事例（1）

機関名	受信場所	大きな揺れの前後での緊急地震速報受信状況	揺れに備えるための行動や機器の制御等の実施状況
足立区立千寿本町小学校	東京都足立区	約40秒前に受信。	スポーツ大会実施中の体育館にも緊急地震速報が流れ、教師・児童・保護者は、転倒しないように体の重心を低くするなどして揺れに備えた。
田市丸子地域自治センター	長野県上田市	約30秒前に受信。	有線放送先の家庭では、「身構えた」あるいは、実際に「ガスの元栓を確認し、机の下に潜り込んだ」「子供達にタンス等倒れる危険性のある物から離れるよう指示した」という方もいた。
松本市役所	長野県松本市	S波到達時刻：10時13分51秒。第1報受信時刻：10時13分29秒（S波到達の22秒前）。アラーム報知時刻：10時13分36秒頃（S波到達15秒前）。※S波到達時刻は、長野県設置の地震計に基づく。	職員向けの庁内放送に基づき、 ・職員は机の下に隠れる等の行動を取った。 ・来庁者に口頭で、警戒と危険物からの退避を指導した。
相模鉄道株式会社	神奈川県横浜市	地震計で揺れを検知する1分03秒前に受信。受信時刻：10時13分32秒。予測到達時間：10時14分22秒～23秒（予測震度3～4）。地震計検知時刻：10時14分35秒（最大震度3）	緊急地震速報を受信後、運転中の各列車は一旦停止をしたが、当社沿線の地震計においては最大値が震度3であったため、運転を再開した。
東京急行電鉄株式会社	東京都	約45秒前に受信。	緊急地震速報システムから列車無線で緊急停止指令を自動的に送信し、運転士が列車を緊急停止させた。
東武鉄道株式会社	東京都	約30秒前程度に受信。	予め列車を減速または停車させることができた。
独立行政法人国立病院機構災害医療センター	東京都立川市	52秒前に受信。	エレベーター、全館放送、自動ドアについての機器自動制御を実施した。（職員等の行動は、現在アンケート調査中）

## 第1節 震災の概要

表 1.3.2 平成 19 年（2007 年）新潟県中越沖地震における緊急地震速報の主な利用事例（2）

機関名	受信場所	大きな揺れの前後での緊急地震速報受信状況	揺れに備えるための行動や機器の制御等の実施状況
戸田建設株式会社	東京都千代田区	約 50 秒前に受信、時間・震度の表示を確認したのは約 30 秒前。	作業、重機の停止。当日は危険作業がなかったため特別な避難は行わなかった。
	東京都中央区	表示を見た時点は約 42 秒前、実際に揺れが到着したのは予測時間より 2 秒ほど後。	クレーン作業を止めるよう指示。地震後安全を確認。実際の停止はやや遅れた。
	東京都台東区	表示を見た時点は約 20 秒前。	クレーンに連絡。地震後安全を確認。ただし結果的にほとんど揺れなかった。
	長野県松本市	約 30 秒前に受信、時間・震度の表示を確認したのは約 20 秒前、予測時間とほぼ同時に揺れが到着。	作業、重機の停止を作業者に指示。地震後の安全を確認。
株式会社帝国ホテル	東京都千代田区	約 50 秒前に受信。	全エレベーター（38 基）は直ちに最寄り階で自動停止し、エレベータ内への閉じ込めを防止した。60 秒後に自動復帰。
コバレントマテリアル新潟株式会社	新潟県北蒲原郡聖籠町	17 秒前に受信。	工場従業員の作業中断、安全な場所への移動を実施した。
株式会社トータル・ライフサービスコミュニティー	新潟県新潟市	本震では、「すぐに地震が来ます」の音声ガイダンスが 2 度鳴り、鳴り終わった直後（鳴り始めから 10 秒程度経過後）、揺れ始めた。余震でも同じ音声ガイダンスが 2 度鳴り、数秒たってから揺れた。	本震では、屋外で遊んでいた子供を屋内に呼び戻して揺れに備え、怪我は無かった。
株式会社パルコミュニケーションズ	新潟県新潟市秋葉区	新潟市のオフィスでは S 波の十数秒前に情報を受信したが、休日でオフィスが無人だったため、自動で業務用の携帯メールに転送。携帯メールで大きな揺れが始まってから約 10 秒くらいに受信。震度は 5 程度。	今回は大きな揺れが来ている最中のため事前の対処は出来なかった。しかしその最中で、おおよその揺れの予測と判断が出来た。

（出典）気象庁：平成 19 年（2007 年）新潟県中越沖地震における緊急地震速報の利用状況について（報道発表資料 平成 19 年 8 月 2 日）

## 第1節 震災の概要

## 1.4 災害救助法の適用

新潟県は、地震発生当日の16日の20時には、長岡市、柏崎市、小千谷市、上越市、三島郡出雲崎町、刈羽郡刈羽村の6市町村に対して、災害救助法の適用を行った。

その後、7月25日に震度5強が観測された三条市、十日町市、燕市、南魚沼市の合計4市を災害救助法の適用対象市町村に加え、合計10市町村とした。

表 1.4.1 災害救助法の適用について

災害救助法 適用市町村	法適用日	被害の状態等	備考
長岡市	7月16日	7月16日の地震発生後、余震が続いており、多数の者が生命又は身体に危害を受け、又は受けるおそれが生じ、避難して継続的に救助	
柏崎市	〃		
小千谷市	〃		
上越市	〃		
三島郡 出雲崎町	〃		
刈羽郡 刈羽村	〃		
三条市	7月25日		
十日町市	〃		
燕市	〃		
南魚沼市	〃		

## 第1節 震災の概要

## 1.5 災害救助に係る活動記録

日本赤十字社では、今回の活動における課題を抽出するとともに、次に災害が発生した際に今回の課題をいかせるように、報告書として『平成19(2007)年新潟県中越沖地震における災害救助に係る活動記録』をとりまとめた。参考として、目次を以下に示す。

表 1.5.1 『平成19(2007)年新潟県中越沖地震における災害救助に係る活動記録』の目次(1)

第1章	地震の概要及び被害発生状況	1. 1	地震の概要
		1. 2	人的・住家被害の状況
		1. 3	ライフラインの被害及び復旧状況
		1. 4	道路の被害及び復旧状況
		1. 5	交通機関
		1. 6	その他の被害
第2章	関係機関の対応状況	2. 1	政府の主な対応
		2. 2	地方公共団体の災害対応状況
		2. 3	日本赤十字の対応
第3章	災害時医療	3. 1	災害時医療実施体制
		3. 2	被災地病院における災害時緊急医療
		3. 3	日本赤十字社の広域医療支援体制
		3. 4	救急搬送状況
		3. 5	有効事例及び課題
第4章	食料・飲料水及び物資等の提供	4. 1	新潟県及び市町村による食料及び物資の提供
		4. 2	国による食料及び物資の提供
		4. 3	日本赤十字による物資の提供
		4. 4	企業による対応
		4. 5	物資調達・輸送に関する課題
		4. 6	水道施設の被害及び課題
第5章	被災後の住まいと生活再建	5. 1	避難所について
		5. 2	応急仮設住宅の建設及び入居状況
		5. 3	被災者の生活再建
		5. 4	義援金の受付及び配分
第6章	災害時要援護者対策	6. 1	地域における災害時要援護者対策
		6. 2	新潟県における災害時要援護者支援の展開
		6. 3	被災者の健康管理及び2次的健康被害予防のための保健師による活動
第7章	ボランティアによる支援	7. 1	ボランティアセンターの概要
		7. 2	ボランティアセンターの開設及び運営状況
		7. 3	新潟県中越沖地震における広域支援体制
		7. 4	赤十字ボランティアの活動状況
第8章	災害救助法の適用状況	8. 1	平成19年新潟県中越沖地震における災害救助法の適用等について
		8. 2	災害救助費の内訳等
第9章	被災住民の対応行動等意識	9. 1	住民に対する意識調査の実施状況
		9. 2	調査結果

表 1.5.2 『平成 19（2007）年新潟県中越沖地震における災害救助に係る活動記録』の目次（2）

資料	新潟県中越沖地震についての座談会議事録
	平成 19 年新潟県中越沖地震災害についての調査集計結果
	平成 19 年新潟県中越沖地震出動救護班についての調査 集計結果